

平成 25 年 11 月 8 日

各 位

株式会社池田泉州銀行

～「日仏ライフログ共同解析実験」に参加～
「関西国際空港出張所（外貨両替ショップ）」で実証実験を行います

株式会社池田泉州銀行（頭取 藤田博久）は、株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーション研究所（以下、ISID イノラボ）がフランス・ヴァルドワーズ県と共同で実施する「日仏ライフログ共同解析実験」に参加し、当行外貨両替ショップにおいてフランス人観光客に対する実証実験を行います。

※フランス・ヴァルドワーズ県：シャルル・ド・ゴール空港を擁するパリ近郊の産業県、大阪府の友好提携都市

「日仏ライフログ共同解析実験」は、一般社団法人グランフロント大阪 TMO、マサチューセッツ工科大（MIT）の協力のもと、世界でもとくに日本の文化に対して関心のあるフランスからの訪日観光客をターゲットに、IC カードやデジタルサイネージなど先進技術を用いて日本国内滞在中の適切な情報やサービスを提供します。

※デジタルサイネージ：IC カード内の情報を読取る端末を内蔵し、映像や情報を表示する薄型ディスプレイ。

外国人観光客の文化や言葉の違いによるストレスを緩和することで、日本・大阪を再び訪問したくなる動機づけにつなげる趣旨で行われます。（※詳細別紙）

当行が参加する実証実験は、本年 11 月 10 日（日）、「関西国際空港出張所（外貨両替ショップ）」において、フランス人観光客が持つ IC カードをデジタルサイネージにタッチするだけで、所定の両替依頼書へ記入することなく外貨両替ができるようにするもので、金融機関では初めての取り組みです。

今後も、池田泉州銀行は、親切で新しいサービスの創造、提供に取り組んでまいります。

以 上

【実験期間】

□2013年11月9日～18日（予定）※当行の実証実験は、11月10日（日）実施予定

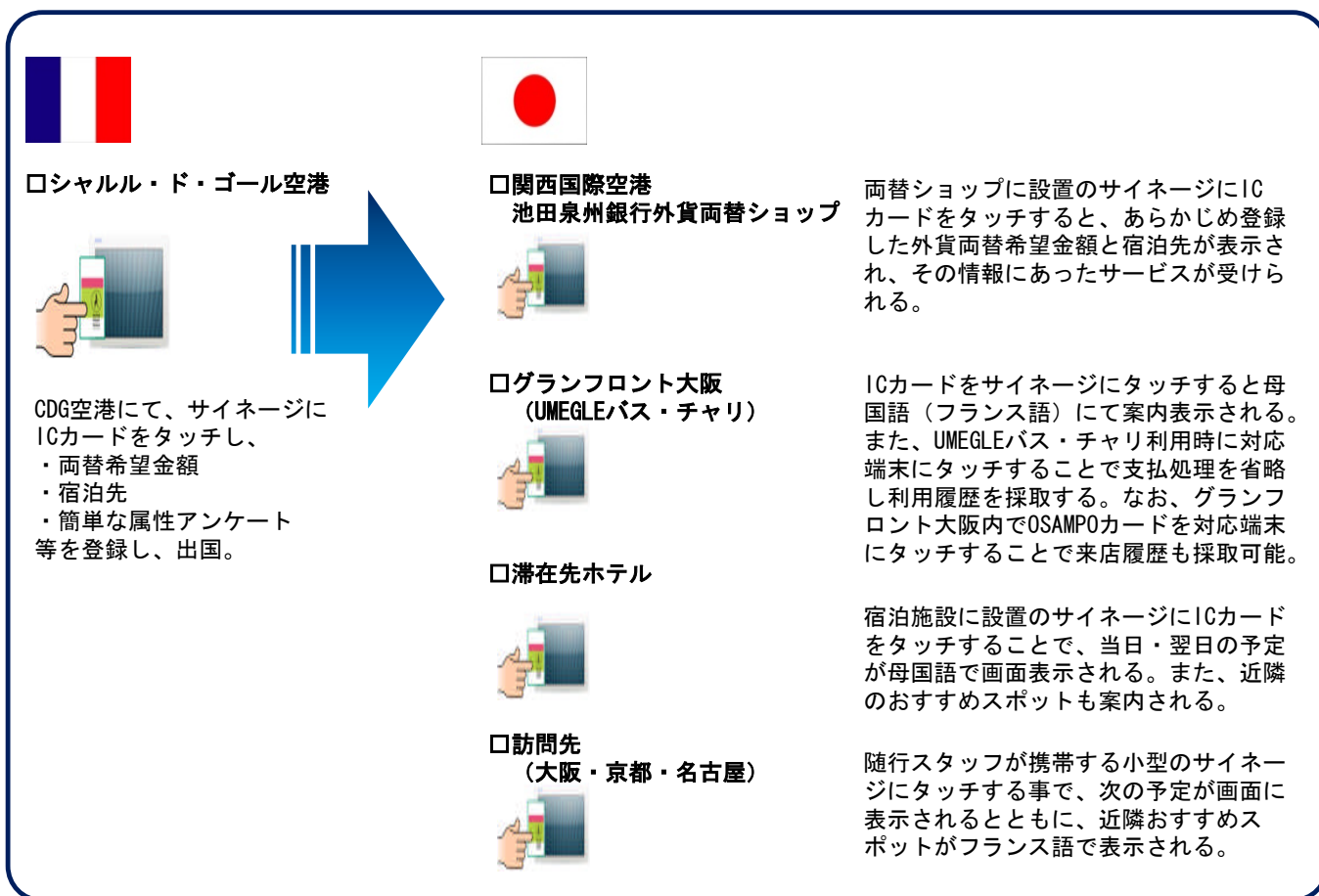
【実験目的】

□訪日する外国人観光客への適切な情報と先進的なサービスを提供し、国内滞在中の利便性向上および観光活性化につながるかを検証する。

【具体的内容】

- 1：実験参加者（外国人観光客）は日本国内への渡航前に、あらかじめ宿泊予定地や渡航先での外貨両替希望金額等を観光客が所有する専用のICカードをサイネージにかざして登録する。
- 2：実験参加者が関西国際空港到着後、空港ロビー内の池田泉州銀行外貨両替ショップにて、ICカードをサイネージにタッチするだけの、スピーディーな外貨両替を実施する。また、当観光客の次の行き先を母国語にてサイネージに案内表示する。
- 3：母国語に対応したサイネージを各訪問先に設置し、案内と円滑な旅行のサポート、及び行程を共にする旅行者同士のコミュニケーション支援のため、サイネージを介した動画共有サービスを提供する。

上記サービスを、以下の場所で提供します。



【実験実施企業・団体】

株式会社電通国際情報サービス オープンイノベーション研究所
 企画・システム開発、実証実験の運営・管理
 フランス・ヴァルドワーズ県 実証実験参加者とシャルル・ド・ゴール(CDG)空港の手配

【協力企業・団体】

・株式会社池田泉州銀行 外貨両替ショップでのサービス提供
 ・一般社団法人グランフロント大阪TMO グランフロント大阪でのICカードサービス等の支援

【技術協力企業・団体】

・マサチューセッツ工科大 (MIT) メディアラボ 動画共有サービス技術協力
 ・放送大学 (OUJ) 川原研究室 ライフログ解析技術協力